

会議報告

会議名称	「元気な入間」まちづくり推進・協働ガイドライン策定会議 第2回会議
開催日時	平成18年12月18日(月)午後2時00分～4時00分
開催場所	市民活動センター 3階 活動室1
出席委員	岩崎廣司・上原保夫・太田恵子・岡野 亘・北田尚美・斎藤次雄 齋藤光明・清水英弥・清水洋行・関谷佳代子・瀧澤良生・原口喜代美 堀夫紗子・宮岡利幸・文字山啓子・渡部直也 以上16名
欠席委員	鳥山政之・亀谷容子 ※アドバイザー 犬塚裕雅
事務局	西勝課長・中澤主幹・國田主査(司会)・石原主査 (以上、企画課)
会議の概要 及び 決定事項	<p>1. 開会 (あいさつ) 西勝企画課長</p> <p>2. 会長あいさつ 渡部会長</p> <p>3. 議事</p> <p>(1)協働ガイドラインに対する認識の共有化と形成について</p> <p>「元気な入間まちづくり基本条例」について、資料に基づき事務局 中澤主幹が説明。その後、当市における協働の現状と課題の抽出を 行うことを確認した。</p> <p>最初に以下の3点について意見交換があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、配付された資料5について、「新しい公共」とは具体的にどの ようなことを指すのか。 ・「新しい公共」とはこれからこの会議で協議しながら形作るもので あると理解している。 ・資料5は市民にとって分かり難い。まちづくりのイメージをもう 少し明確に伝えてほしい。 ・資料5は、各職員が日頃感じている協働の問題を持ちより、協働 の共通認識を深めたものであり、理想のまちづくりをイメージし て作成したものではない。 ・「元気な入間まちづくり基本条例」の内容では具体的なまちづくり のイメージが湧かない。 ・条例の中の第2条(基本理念)が全てに繋がっていると思う。

※このことから、条例第2条をベースに協働の現状と課題の抽出を行っていくこととなった。

【以下、各委員の意見】

- ・市民ニーズには地域差がある。
- ・市民ニーズを把握する前に社会全体の課題を把握しきれない場合が多い。
- ・市民ニーズを全て受け入れることを前提とした「協働ガイドライン」にしていけないと思う。
- ・行政が協働を安請けの手段として認識してもらっては困る。
- ・市民側（NPO等）の意欲を取り入れてくれる場がない。
- ・NPO等が提案する事業の公募制を当ガイドラインに盛り込むべきである。
- ・協働の契約方法と事業完了後の評価方法を確立すべきである。
- ・協働は行政と市民が対等な立場でなければならない。それには、市民側の能力向上が必要である。

※次回は協働に対する認識の共有化と形成について、さらに具体的な内容を出し合い、認識の共有化を図ることを確認し閉会。

※次回会議 平成19年1月22日（月）午後2時～

次々回会議 平成19年2月19日（月）午後7時～

会場：市民活動センター 活動室1